2020 年 3 月 18 日

各 位

スパークス・グループ株式会社
代表取締役社長 グループ CEO 阿部 修平
(コード 8739 東証第一部)

「未来創生 2 号ファンド」
通信インフラ関連ベンチャー企業 Altaeros Energies, Inc.への投資実行
― 垂直イノベーション技術によって、誰もがシームレスに繋る未来へ ―

スパークス・グループ株式会社（以下、スパークスと表記）は、2018 年 7 月に設立した「未来創生 2 号ファンド」が、米国で自動制御浮揚型通信基地局 SuperTower を開発、展開している、Altaeros Energies, Inc.（本社：米国マサチューセッツ州ボストン、CEO/CTO & Co-Founder: Ben Glass, Chairman & Co-Founder: Adam Rein。以下、「Altaeros 社」と表記）への投資（金額は非開示）を実行しましたので、お知らせします。Altaeros は今回の調達資金を活用し、通信基地局 SuperTower の商業展開に向けたセールスの強化、エンジニアの採用、プロダクトの製造を行い、更なる事業伸長を目指します。

■投資先企業の概要

Altaeros 社は 2010 年に設立された、MIT 大学発の通信インフラ関連ベンチャー企業です。航空宇宙科学分野の技術を用いて開発された、飛行船 SuperTower を、通信基地局として展開します。SuperTower は独自のソフトウエアと、地上ベースと繋がっている 3 本のケーブルによって、厳しい天候や環境下でも定位置を自動で保つことが可能です。SuperTower に無線機やアンテナ類を搭載し、従来の基地局の 4 倍以上の高さに配備することにより、従来の基地局で対応できなかった、広範囲のカバレッジを確保します。また、鉄塔型の基地局に必要な建設機材の準備や大規模な基礎工事などを必要とせず、迅速かつローコストでサービス提供開始することが可能です。今後更に、誰もがシームレスに繋がる未来に向けたインフラ整備に寄与する技術として、展開、技術革新を行っていく意向です。
本件プレスリリースの内容を含め、詳細については Altaeros 社のホームページ：
http://www.altaeros.com/をご参照ください。

■「未来創生（1 号）ファンド」及び「未来創生 2 号ファンド」の概要

未来創生（1 号）ファンドはスパークスを運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行を加えた 3 社による総額約 135 億円の出資により、2015 年 11 月より運用を開始しました。最終的には、上記 3 社を加えた計 20 社からの出資を受けました。「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会実現に資する技術」を中核技術と位置づけ、それらの分野の革新技術を持つ企業、またはプロジェクトを対象に米国、英国、イスラエル、シンガポール、日本の約 50 社に投資しました。2018 年下半期には、既存投資領域 3 分野に加え、新たに「電動化」、「新素材」を投資対象とした未来創生 2 号ファンドの運用を開始しました。2020 年 2 月末時点の運用資産残高は、1 号と 2 号あわせて、1,093 億円となっています。
未来創生ファンドの投資実績：https://mirai.sparx.co.jp/investment/

■ 本件に関するお問い合わせ先

スパークス・グループ株式会社 広報室
TEL : 03-6711-9100 / FAX : 03-6711-9101
pr_media@sparxgroup.com